

教育職員免許状取得予定者のための

履 修 カ ル テ

千葉大学
情報・データサイエンス学部

情報・データサイエンス学科
学生証番号 [] 氏名

教員免許取得を目指す学生には「教職実践演習」の履修が必須となります。

「教職実践演習」は4年次後期に履修することが定められており、この科目を履修するためには「履修カルテ」を作成する必要があります。

半期ごとに成績通知表を見て、教職関連科目の修得学年度、授業の担当教員名、評価（成績）を「履修カルテ①－1」に記入してください。後期分の成績通知表受領後には、3. 教職関連科目の学修状況についてのふりかえり及び4. 教員による履修状況等の点検とコメントの修得単位数の確認欄も記入してください。

履修カルテの構成

履修カルテ①

1. 教職関連科目等の履修状況
2. 学校ボランティア等の経験
3. 教職関連科目の学修状況についてのふりかえり
4. 教員による履修状況等の点検とコメント

* 1～3までは学生が記入します。

* 取得する免許状ごとに履修カルテ①－1が必要です。

* 4の所見欄は学年担任（4年生前期は教育教員）が記入しますが、修得単位数の確認欄については学生が記入します。

履修カルテ②

自己評価シート

* 担当教員との履修カルテのやり取りについては、裏表紙に記載しています。

学生証番号

氏名

4. 教員による履修状況等の点検とコメント

教育職員の免許を取得するために必要な科目	高校
教科及び教科の指導法に関する科目	24単位
教育の基礎的理解に関する科目	10単位
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位
教育実践に関する科目	5単位
大学が独自に設定する科目	12単位
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	8単位
合計	67単位

*上記区分科目の余剰単位

*憲法、スポーツ・健康科目、英語科目、情報リテラシーの各2単位

修得単位数の確認（学生記入）

単位取得状況	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	66条の6	備考
1年次							
2年次							
3年次							
4年次							
計							

履修が順調ではない場合は本人に思い当たる理由を尋ね、再履修の計画を確認、必要な助言をする。

（□はチェック欄）

年次	所見	教員名（自署）
1年	1年次の履修状況等についてのコメント	
2年	2年次の履修状況等についてのコメント	
3年	教育実習に向けての確認ポイント	
	☐ 事前指導の単位を修得する見込みである ☐ 教育実習を履修する上での必要単位を満たしている ☐ 教育実習の意義が理解できている ☐ 大学外で実習を行うことへの心構えができている その他	
4年前期まで	履修カルテ全体についてのコメント	

2年次

担当教員：学年担任教員

4月：1年次の成績を「履修カルテ」に記入し、学年担任の先生の面談を受けてください。履修状況を見て所見を記入します。履修状況がよくないときは、指導や助言を行います。



10月：前期の成績受領後、「履修カルテ」に記入します。

3年次

担当教員：学年担任教員

4月：2年次後期の成績を「履修カルテ」に記入し、学年担任の先生の面談を受けてください。2年次の所見を記入後、「履修カルテ」を返却します。



10月：前期の成績を受領後、「履修カルテ」に記入します。

4年次前期

担当教員：教育委員

4月：3年次後期の成績を「履修カルテ」に記入し、教育実習の事前指導の際に教育委員の先生に提出してください。3年次の所見を記入後、返却します。



4年次後期

担当教員：「教職実践演習」（他学部用）担当者

10月：前期の成績を受領後、「履修カルテ」に記入し、教育実践演習受講の際に『自己評価シート』とともに「教職実践演習」の担当教員に提出してください。

千葉大学教職課程 履修カルテ① <教職関連科目の履修状況>

情報・データサイエンス学部情報データサイエンス学科

学生証番号()

氏名 ()

校種 (高校) 教科 (情報)

1. 教職関連科目等の履修状況(修得した授業科目名・単位・修得年度等を下表に記載すること。)

区分		授業科目名	単位	修得年度	教員名	評価
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎論	1			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	現代教職論	2			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度論	2			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の理論と方法	2			
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	1			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1			
	特別活動の指導法	特別活動	1			
	教育の方法及び技術	教育方法・技術	1			
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	ICT活用教育の理論と方法	1			
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2			
		生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2			
		生徒指導・教育相談の理論と実際	1			
教育実践に関する科目	教育実習	事前・事後指導	1			
		高等学校教育実習	2			
	教職実践演習	教職実践演習	2			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	情報社会及び情報倫理	情報倫理	2		
		コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	プログラムの設計と実現Ⅰ	2		
			プログラムの設計と実現Ⅱ	2		
			プログラムの設計と実現Ⅲ	2		
			プログラム演習Ⅰ	1		
			プログラム演習Ⅱ	1		
			コンピュータシステム入門	2		
			インタプリタとコンパイラ	2		
		情報システム(実習を含む。)	分散情報処理	2		
			情報工学実験ⅠA	1		
			オペレーティングシステム	2		
			時系列信号処理	2		
			最適化理論	2		
			機械学習Ⅰ	2		
			情報工学実験Ⅱ	2		
		情報通信ネットワーク(実習を含む。)	コンピュータネットワーク	2		
			情報工学実験ⅠC	1		
			情報理論	2		
			符号理論	2		
		マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	マルチメディア工学入門	2		
			情報工学実験ⅠB	1		
			コンピュータグラフィックス	2		
			デジタル画像処理	2		
		情報と職業	情報と職業	2		
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	情報科教育法Ⅰ	2			
		情報科教育法Ⅱ	2			

2. 学校ボランティア等の経験

期間	内容	場所

3. 教職関連科目の学修状況についてのふりかえり

【1年次】

--

【2年次】

--

【3年次】

--

【4年次前期】

--

千葉大学情報・データサイエンス学部 履修カルテ② <自己評価シート>

<高等学校教員>

必要な資質能力の指標		自己評価		
項 目	指 標	2年次	3年次	4年次
使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項	誠実、公平かつ責任感を持って生徒と接し、生徒から学び、共に成長しようとする意識を持って、指導に当たることができるか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	教員の使命や職務についての基本的な理解に基づき、自発的・積極的に自己の職責を果たそうとする姿勢を持っているか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	自己の課題を認識し、その解決に向けて、自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っているか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	生徒の成長や安全、健康管理に常に配慮して、具体的な教育活動を組み立てることができるか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
社会性や対人関係能力に関する事項	挨拶や服装、言葉遣い、他の教職員への対応、保護者に対する接し方など、社会人としての基本が身についているか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	他の教職員の意見やアドバイスに耳を傾けるとともに、理解や協力を得ながら、自らの職務を遂行することができるか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	学校組織の一員として、協調性や柔軟性を持って、校務の運営に当たることができるか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	保護者や地域の関係者の意見・要望に耳を傾けるとともに、連携・協力しながら、課題に対処することができるか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
幼児児童生徒理解や学級経営等に関する事項	明るく生徒と顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができるか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	生徒の声を真摯に受け止め、生徒の健康状態や性格等を理解し、公平かつ受容的な態度で接することができるか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	社会状況や時代の変化に伴い生じる新たな課題や生徒の変化を、進んで捉えようとする姿勢を持っているか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	生徒の特性や心身の状況を把握した上で、学級づくりをしようとする姿勢を持っているか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
教科・保育内容等の指導力に関する事項	自ら主体的に教材研究を行うとともに、それを活かした学習指導案を作成することができるか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	教科書の内容を十分理解し、教科書を介して分かりやすく学習を組み立てるとともに、生徒からの質問に的確に応えることができるか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	板書や発問、的確な話し方など基本的な授業技術を身につけるとともに、生徒の反応を生かしながら、集中力を保った授業を行うことができるか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	基礎的な知識や技能について反復して教えたり、板書や資料の提示を分かりやすくするなど、基礎学力の定着を図る指導法を工夫することができるか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1

※ 5:十分にできる、4:できる、3:どちらともいえない、2:あまりできない、1:できないの5段階で回答してください。